

氏名	栗原英樹		
学位の種類	医学博士		
学位授与番号	博乙第2157号		
学位授与の日付	平成2年9月30日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）		
学位論文題目	末梢血管外科領域におけるサーモグラフィの有用性に関する研究		
論文審査委員	教授 折田薫三	教授 中山 沃	教授 古元嘉昭

学位論文内容の要旨

下肢血行障害肢の無侵襲診断法としてのサーモグラフィの有用性を、1) 下肢部位別皮膚温・2) サーモグラムのパターン分析から検討し、あわせて lipo Prostagrandin E_1 (以下 1-PGE₁) の末梢血流改善効果を皮膚温の変動から観察した。安静時下肢皮膚温では閉塞肢・非閉塞肢ともに膝蓋部は大腿部・下腿部よりも低温を示した。足背部では、閉塞肢群は非閉塞肢群よりも低温であったが、膝蓋部では TAO 群が他群よりも有意に高温であった。サーモグラムのパターン分析では、1) thermal amputation・2) hot area・3) hot spot・4) 大腿部斑状パターンを提唱したが、これらはいずれも末梢動脈疾患の質的診断に有用であった。1-PGE₁ の投与では、部位別・疾患別に皮膚温の変化に違いがみられた。特に下腿では皮膚温の低下がみとめられた。以上からサーモグラフィは血行障害肢の閉塞部位・末梢 run off の良否の診断、薬剤負荷による下肢皮膚血流の変化の観察に有用であると考えられた。

論文審査の結果の要旨

本研究者は、下肢動脈慢性閉塞 194 肢と健常 48 肢を対象に、本人提唱のサーモグラム分析の 4 型のパターン分類が、動脈造影の所見と良く合致すること、prostagrandin E_1 投与時の血流の変化をも反映することから、無侵襲診断法としての Tele-thermography が下肢の血行障害の程度や変化の観察に有用なことを明らかとしている。この知見は臨床に貴重なるものにして、本研究者は医学博士の学位を得る資格があることを認める。